

## はじめに

### 日奈久小の概要

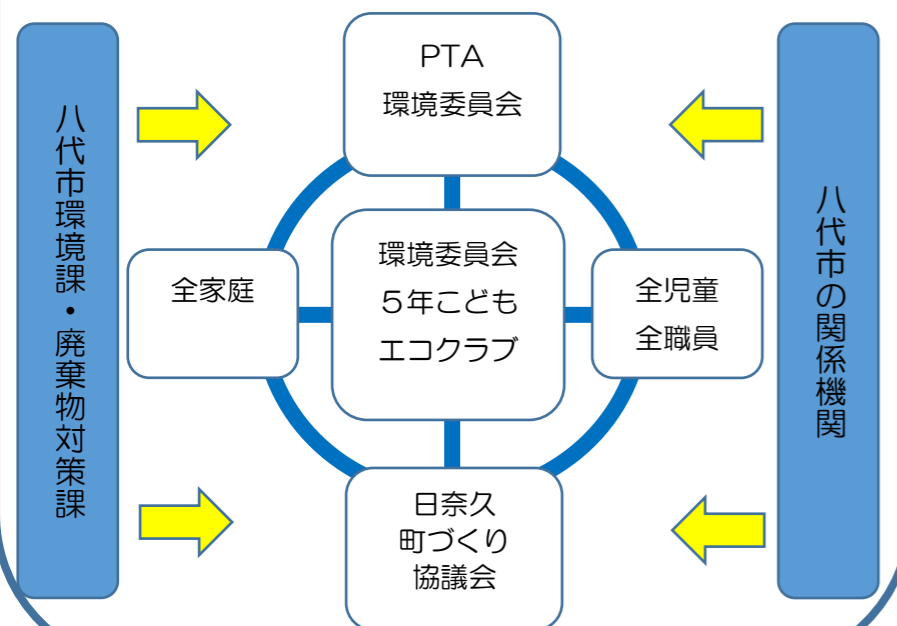
日奈久小学校は、東に山、西に海を臨み、周囲には田畑が広がる自然豊かな場所にある。児童数は、78名。学年を超えて仲が良く、隣接する日奈久中学校とは小中連携教育に取り組み、合同で行う行事などがあり、交流も盛んである。郷土愛溢れる地域でもあり、「みんなで作ろう みんなのふるさと できることから始めよう」を合言葉に、地域住民とも協力している。



### 組織

児童会環境委員会と5年こどもエコクラブのメンバーが中心となり活動を行っている。地域の協力を得て行う活動も行っている。

今年度は、学校版環境 ISO の取組11年目を迎え、気持ちを新たにエコ活動に取り組んでいる。環境教育の実践としてだけでなく、ボランティア精神や道徳的な心の芽を育てる取組として、活動を続けている。



## 宣言

### 日奈久小 ISO 宣言

#### ☆児童☆

- ① 使わない電気はこまめに消そう
- ② コップ1ばいの水ではみがきをしよう
- ③ バケツ半分の水でそうじをしよう
- ④ 手の平より大きな紙はリサイクルボックスにいれよう
- ⑤ 自分のものには名前を書いて大切にしよう
- ⑥ ティッシュの袋などはプラ資源入れに入れよう
- ⑦ 家でも ISO 活動に取り組もう

#### 具体的数値目標

水の使用量 昨年度比5%減  
 電気の使用量 昨年度比5%減  
 ペットボトルのキャップ2万個回収



#### 職員

- 紙の消費を抑えます。
- OA 機器のスイッチをこまめに切ります。
- 照明のスイッチをこまめに切ります。
- 排出ごみを減らします。
- 毎月、環境衛生点検を行います。
- 校舎の環境美化に努めます。
- 環境問題について学習します。

#### 具体的数値目標

ゴミ袋の使用枚数 昨年度比5%減

## 学ぶ・知る

### 環境学習会<エコタイム>

全校一斉に学ぶ環境学習会を毎年行っている。環境を守るために自分たちにできることを考える大事な機会である。本年度も、八代市の廃棄物対策課と次世代のためにがんばる会から GT(ゲストティーチャー)を招き、エコタイムを行った。

今年度は、「クイズで学ぶ八代市のごみ分別」をテーマに、実際にごみを分別する活動やごみについているマークの学習などを行っている。



### 校区清掃<クリーン作戦>

年に1回、隣接する日奈久中学校と合同で校区内の清掃活動を行っている。小学生、中学生、地域住民がそれぞれ4つのコースに分かれ、校区内のゴミ拾いをする。

落ちていたゴミの中には空き缶やペットボトルなどリサイクルできるものも多い。子どもたちはその活動の中で、自分たちが住む地域を美しく保つためにどうしたらいいか考え、きちんとした分別の方法について学んでいく。

老人会・婦人会の協力もあり、学校と地域との交流の場にもなっている。



# 行 動

## 環境委員会

### 日々の活動

#### <ごみ集め>

毎週水曜日に、各そうじ場所のごみ集めを行っている。集めたごみは月ごとに集計し、エコステーションの前に掲示している。

#### <資源回収>

毎月第2・第4月曜日に地域の資源回収に参加している。地域の人に教えてもらいながら、子どもたち自身の手で資源ごみの分別をしていく。



### エコキャップ集め

今年度は、各階の昇降口にエコキャップ入れを設置した。集めたキャップは月ごとに集計をしている。昨年度は、20000個のキャップが集まり、25人分のポリオワクチンになった。今年度も20000個を目標に呼び掛けているところである。

ごみも減り人の役に立つ活動で心も温かくなる。

### エコランド

本校では毎年、6月の環境月間に合わせて、環境委員会の児童を中心にエコランドを実施している。目的は、外で遊べない梅雨の時期に、資源物を使って遊びの場を作り、エコな活動に関心を持ってもらうことである。今年度は「ペットボトルポウリング」、「ペットボトル弓矢」、「紙パックとんぼ」の3つの遊びを企画し、実施した。資源ごみを活用しておもちゃを作り、それを使って楽しく遊ぶことで環境を守ろうとする心を育てる一歩になる。



## 5年こどもエコクラブ

### 環境学習

県環境センターを訪問し、水質汚染やごみ問題について考えてきた。きれいで気持ちの良い町にするために、自分たちができることを考えている。学習の成果は、たけのこ発表会や壁新聞で発信している。また、JAの協力を頂き、稲作にも取り組み、豊かな水資源に感謝する気持ちや自分たちの手で守ることの大切さを学んだ。



## 全校での取り組み

### 節電

電気係を設けたり、学級のISO宣言に設定したりするなどして取り組んでいる。

職員室も、不在の時にはこまめにスイッチを切るようにしている。

### 節水

バケツ半分の水でそうじをしたり、コップに汲んだ水ではみがきをしたりして、水を出しっぱなしにすることのないようにしている。

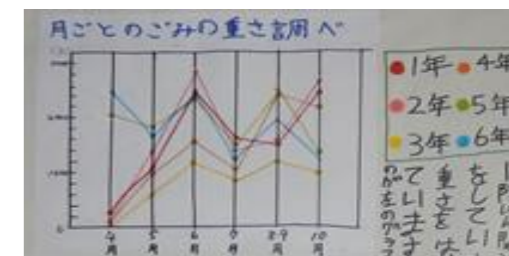
### グリーンタイム（栽培活動）

全校児童で学級園と一人一鉢を植え、育てている。登校時に学級園の草ぬきをする学年も増え、自分たちの手で美しい学校づくりに関われるよい機会となっている。

## 点検・記録

### ごみ計量

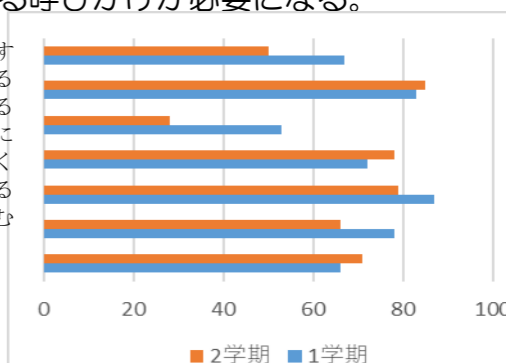
下の写真は、11月までに各クラスから出たごみの量の推移を表したものである。ごみ集めでは、燃えるごみの中に資源物を見つけ、児童からは、ごみの減量だけでなく、分別の呼びかけをしたいという思いが出てくるようになった。資源として回収し、ごみを減らそうという考え方が身についてきた。これからも、継続して取り組んでいきたい。



### ISO調べ

学期に一度、環境委員会が各クラスにISOの達成状況の聞き取りを行っている。紙資源の分別への意識は呼びかけの効果もあり高まってきている。しかし、ISOの実施全般的にはさらなる呼びかけが必要になる。

使わない電気をこまめに消す  
コップ一杯の水ではみがきをする  
バケツ半分の水でそうじをする  
手の平より大きな紙は資源入れに  
自分のものには名前をかく  
プラ資源入れに入れる  
家でもISO活動に取り組む



## 見直し

今年度も昨年度から継続して、ごみの計量に力を入れてきた。児童は、ごみ集めをする中で、資源として回収することのできるものが燃えるごみの中に入っていることに気づき、分別をすることの大切さを考えることができた。

5年生は総合的な学習の時間で身近な環境について考えているが、その他の学年でも自分たちの身近な環境を守るためにできることを考える機会を増やしていきたい。そのためにも、ISO宣言の取り組みの振り返りの方法を工夫したりして、児童がより意識できるようにしていきたい。

節電に関しては、児童の振り返りでも評価が低く、実際に使われていない教室の電気などがついていることがあるようだ。こまめに呼びかけをして、意識を高めたい。